

特集2

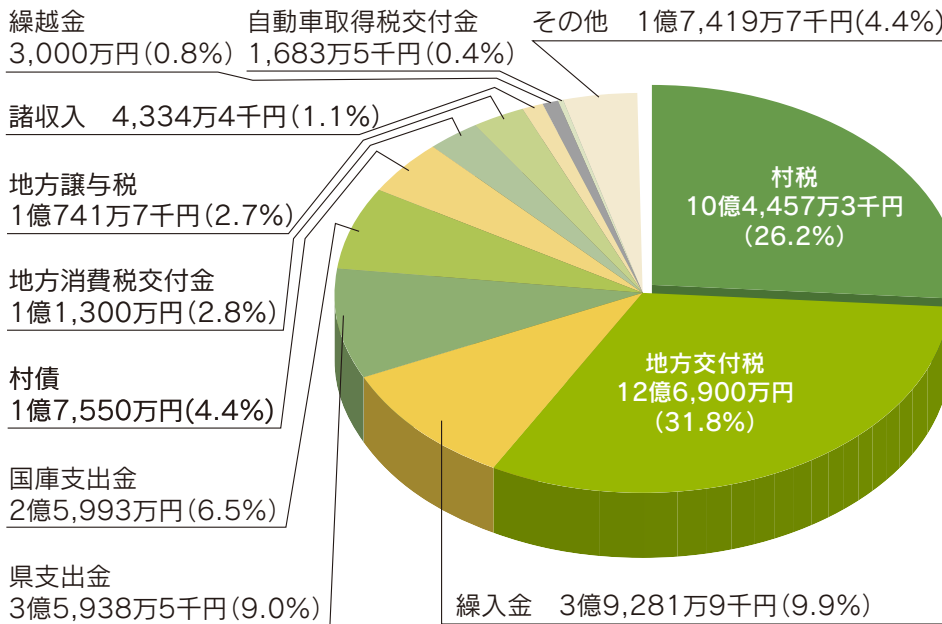
平成31年度
当初予算
成立

昭和村の未来を担う子育ての 充実と若者の育成支援に向けて

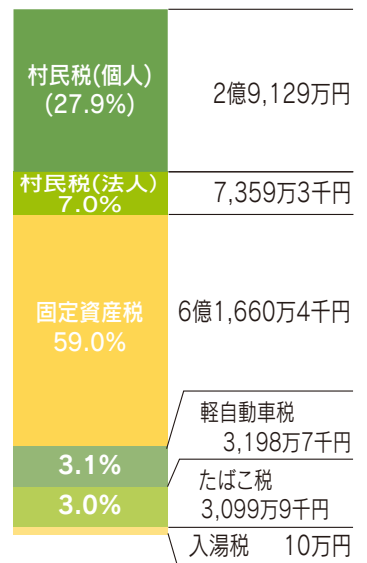
平成31年度の当初予算が、3月議会で可決されました。一般会計は39億8,600万円で、前年度当初予算に比べ、2.7%の増額。特別会計は26億5,543万2千円です。

■問合せ 総務課財政係 ☎24-5111 (内線111)

歳入 39億8,600万円



村税の内訳

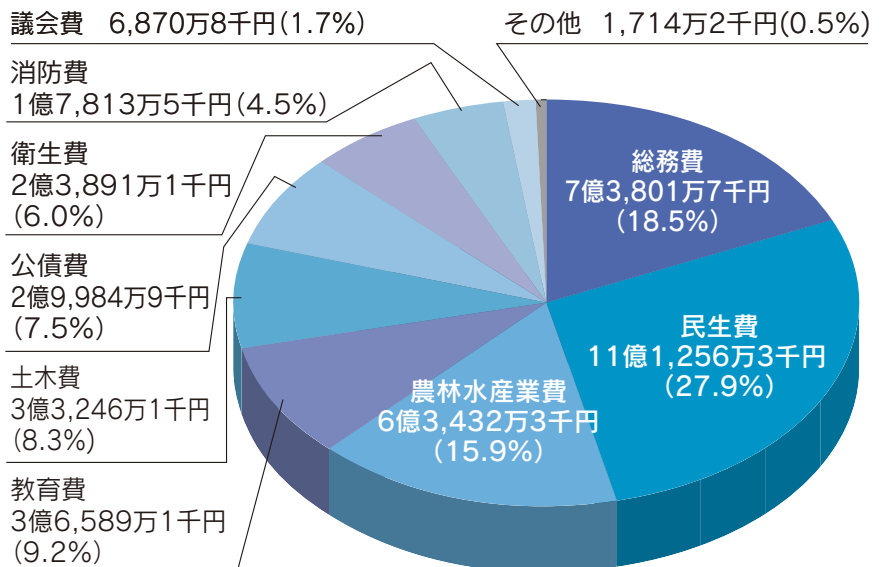


39億8,600万円 歳出

村債務残高(見込)

(単位：百万円)

	平成30年度末	平成31年度末
一般会計	2,683	2,603
簡易水道事業会計	279	255
農業集落排水事業会計	1,736	1,581
債務負担行為	7	0
合計	4,705	4,439



※100円未満切り上げ、利子は含みません(債務負担行為は除く)

歳入の概要

歳入でもっとも大きな比率を占めるのは、地方交付税で12億6,900万円(対前年度比0・0%)。歳入全体の31・8%を占めています。

村税は、10億4,457万3千円で対前年度比0・1%の減額。地方譲与税は、1億741万7千円で対前年度比1・3%の増額。

繰入金は、3億9,281万9千円で対前年度比3・3%の増額。自主財源は、16億6,265万1千円、依存財源は23億2,334万9千円です。

地方交付税等の依存財源が歳入の58・3%を占めており、前年より改善はされておりますが、まだ依存財源の比率が高い状況です。

すが、ふるさと納税による特産品の返礼品の事業や、役場新庁舎の基本設計を行う予定です。

民生費は、11億1,256万3千円で対前年度比1・9%の増で、福祉センター運営事業費が増えたことが主な要因になります。

農林水産業費は、6億3,432万3千円で対前年度比4・2%の減で、債務負担行為の利根沼田区域農用地総合整備事業費負担金がなくなったことが、減額の主な要因になります。

土木費は、3億3,246万1千円で対前年度比8・1%の増で、橋梁維持費において補修が必要な橋の補強設計を行うための費用が、増額の主な要因になります。

消防費は、1億7,813万5千円で対前年度比1・7%の減で、自主防災組織活動助成金の創設を行うとともに、今年も難聴地域解消のため、防災行政無線の子局の増設を行うこととしています。

教育費は、3億6,589万1千円で、対前年度比0・3%の減で、校務支援システムの導入と、総合運動公園のトイレ改修、ふわふわドームの防球ネット設置工事を行います。

公債費は、2億9,984万9千円で対前年度比6・8%の増額となります。

歳出の概要

総務費は、7億3,801万7千円で対前年度比8・8%増であります。

用語説明

一般会計と特別会計

地方公共団体の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は、基本的・全般的な経費を経理する会計。特別会計は、特定の事業を行うために、歳入・歳出を一般会計と区別して経理するための会計です。

歳入

- ▼自主財源：村が独自に確保できるお金。村税や施設使用料など。
- ▼依存財源：国や県の判断により割り当てられるお金。地方交付税のほか、村債も依存財源にあたる。
- ▼村税：皆さんからの税金で賄われるお金。昭和村では、村民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税等が村税になる。
- ▼地方交付税：地方公共団体が行う業務を、すべての市町村が同じように行えるために、ある一定の基準で国が市町村に支給するお金。
- ▼地方譲与税：国税として徴収したものを、市町村に対して譲与するお金のうち、市町村に対して譲与するお金の1・7%分が地方消費税交付金。
- ▼地方消費税交付金：8%の消費税のうち1・7%分が地方消費税交付金。
- ▼自動車取得税交付：自動車取得税の

歳出

- ▼歳入：一部を財源として、村道の長さや面積に応じて、県が村へ交付するお金。
- ▼県支出金：県から市町村へ、特定の事業に対して支給されるお金。
- ▼国庫支出金：国から市町村へ、特定の事業に対して支給されるお金。
- ▼繰入金：他会計や基金などから繰り入れたお金。
- ▼村債：事業を行うために村が借りるお金。
- ▼議会費：村議会の運営の経費や議員報酬など。
- ▼総務費：おもに人件費や事務費、広報しよっわの発行、選挙などのお金。
- ▼民生費：社会福祉や児童福祉(保育園)の管理・運営など、老人福祉の経費。
- ▼衛生費：病気予防の各種健診や母子保健事業の経費。毎日家庭から出るごみ処理のための経費など。
- ▼農林水産業費：農林業の振興や土地改良事業の経費。
- ▼土木費：村道・橋梁の整備や砂防工事、除雪などの費用。
- ▼消防費：消防・防災施設整備の経費(消防団の運営・消防詰所の整備など)。
- ▼教育費：学校教育(小中学校の管理費)や社会教育(講演会や各種体育大会などの開催)、給食センターの経費など。
- ▼公債費：過去に事業をするために借り入れた村債の元金・利子の返済金。

こんな事業を行います 一般会計39億8,600万円の使いみち

一般会計

疾病対策予防事業



予防接種法に基づく定期予防接種や感染症法に基づく結核検診を実施するとともに、任意接種についても助成し、個人の疾病予防と社会への蔓延防止に努めています。

事業費 2,391万円

道路維持補修事業

村民生活が豊かで、活性化された村づくりを目指し、基金を一部取り崩したり、起債を利用して、村道の維持補修のための舗装工を進めます。

事業費 1億8,990万円



英語教育充実・国際交流事業



小学校からの英語導入にあたりALTを1名増員、英語力の向上につなげるとともに、中学生の海外派遣事業を通じアメリカ・イーグルポイント市と国際交流を継続します。

事業費 2,259万円

特別会計

特別会計についてお知らせします

農業集落排水事業

貝野瀬生越、糸井三ツ谷、昭和南、永井入原地区の下水処理施設の管理と戸別浄化槽の設置および管理を行う会計です。

予算 3億3,594万円

簡易水道事業

安全な上水を確保、供給する会計です。
老朽管の更新や水源浄水施設と配水施設の維持管理を行い安定供給します。

予算 1億4,297万円

国民健康保険

農業、自営業、退職した人などの医療給付費や後期高齢者支援金、また、40歳から60歳の人のための介護給付費を負担する会計です。

予算 12億7,839万円

後期高齢者医療

75歳以上(65歳から74歳までの方で法令で定める程度の障害の状態にあると広域連合に申請し認定された)の方の医療を負担する会計です。

予算 8,234万円

介護保険

介護を必要とする人の介護サービスや介護予防サービスを提供する会計です。

予算 8億1,579万円

こんな事業を行います

ふるさと納税活用事業

平成30年度中に5,244件(総額1億2,792.5万円)のふるさと納税の寄附をいただきました。そのなかから今年度は1億円をふるさと納税活用事業として、各種事業に活用させていただきます。

寄附をしていただく際に選んでいただいた事業別金額

・教育・文化づくりに関する事業	1,953.5万円
・健康・福祉づくりに関する事業	956万円
・自然・生活環境づくりに関する事業	938万円
・農業・産業振興づくりに関する事業	923万円
・その他、目的を達成するために村長が必要と認めた事業	8,022万円



河岸段丘ハーフマラソン



横浜開港記念バザー出店



保育園体操教室



観光トイレ

ふるさと納税を活用して平成31年度に実施する事業

担当課	内 容	ふるさと納税(充当額)
総務課	パソコン等	80万円
	特産品の返礼	3,900万円
	庁用車の更新	300万円
	消防分団詰所改修費等	90万円
	駆除助成	30万円
企画課	ウィンターフェスティバル補助	100万円
	昭和の秋まつり補助	200万円
	河岸段丘ハーフマラソン補助	100万円
	ボイラー入替工事	200万円
	道の駅観光PR業務委託	400万円
	カレンダー・紙袋・パネル等作成	50万円
	交流にかかる費用	50万円
保健福祉課	敬老祝い金	200万円
	家族介護慰労金	200万円
	子育て保育園保育園バス購入費	250万円
	第一保育園体操教室開催委託料	25万円
	第二保育園体操教室開催委託料	25万円
	インフルエンザ予防接種(中学生まで)	100万円
	不妊治療助成	200万円
産業課	荒廃農地解消対策事業	100万円
	さくら工房等補助金	100万円
	産業青年派遣事業	70万円
	秋まつりこんにやく大鍋	80万円
	道の駅管理委託料	350万円
	駐車場拡張工事設計委託料	200万円
	回廊修繕工事	100万円
	横浜開港記念バザー出店	50万円
	中学生森林に親しむ会負担金	50万円
	商工会育成強化補助金	100万円
建設課	交通安全対策	200万円
	観光トイレ清掃委託料	50万円
	維持補修用材料	50万円
	住宅リフォーム補助金	100万円
教育委員会	新築住宅補助	600万円
	特別支援教育支援員の配置	500万円
	土曜教育・昭和未来塾事業	70万円
	外国人英語指導助手雇用賃金	530万円
	小学校読書活動の充実(図書購入)	90万円
	中学校読書活動の充実(図書購入)	50万円
	文化講演会等講師謝金	40万円
親子映画まつりフィルム借上料	20万円	